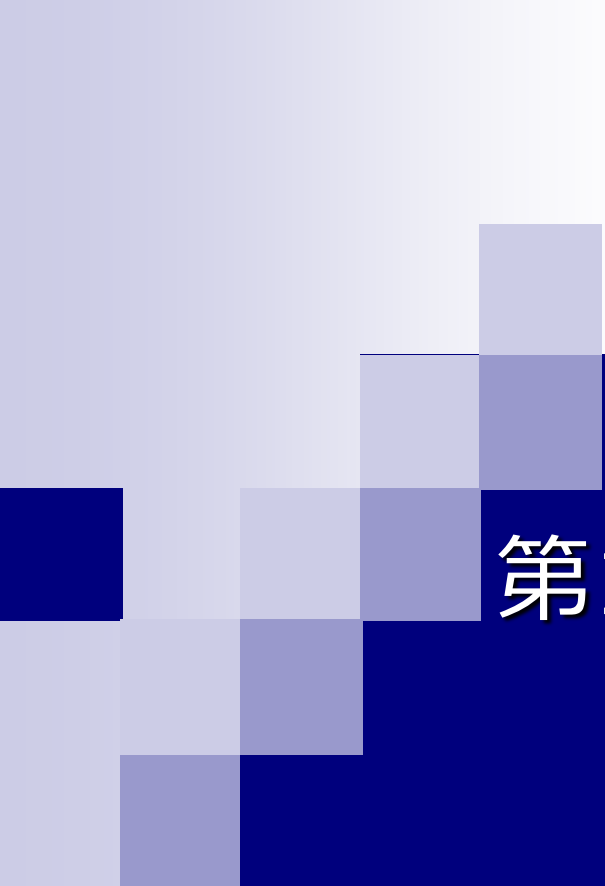




第123回 中村屋健康保険組合 組合会

令和2年7月20日（月）

14：00～15：00

6階会議室1・2

中村屋健康保険組合

第 1 2 1 回 中村屋健康保険組合 組合会 議題

報 告 事 項

第 1 号報告 理事長先決による健康保険組合規約等の変更に関する件

第 2 号報告 令和元年度 健康保険組合監査報告に関する件

第 3 号報告 収支予算の同一款内流用に関する件

審 議 事 項

第 1 号議案 令和元年度健康保険・介護保険収入支出決議（案）
に関する件

第 2 号議案 令和元年度 決算残金処分（案）に関する件

報告事項

第1号報告 理事長先決による健康保険組合規約等の変更に関する件

変更の要点

- ・ 災害等による外出自粛規制時にＴＶ会議及びweb会議システムを利用した組合会開催を可能にする。
- ・ 上記の場合に限り、審議事項については、書面による議決をとることができる。
(理事会も書面の提出に代えることが可能)



新型コロナウイルスをはじめとし、今後の情勢に柔軟に対応する目的

報 告 事 項

第 2 号報告 令和元年度健康保険組合監査報告に関する件

令和元年度の『収支支出決算概要表』『令和元年度事業報告書』の内容について事務長より説明があり、その後、会計帳簿・財産残高確認・収入支出に係る伝票・信憑書類・各種資料の管理状況等を確認し検証を行いました。特別に問題となる箇所はなく、適正に処理されていたので、ご報告いたします。

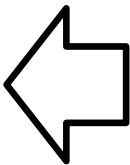
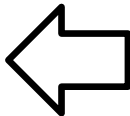
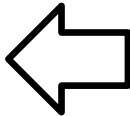
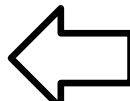
監事 大網 克美

監査日時 : 令和 2 年 7 月 1 4 日 (火)

監査会場 : 東京事業所 事務 3 号棟 健保組合会議室

報告事項

第3号報告 収支予算の同一款内流用に関する件

納付金	前期高齢者納付金 (21,605円)		予備費 (214,337円)
	後期高齢者支援金 (192,732円)		
保険給付費	入院時食事・生活療養費(128,663円)		療養費 (128,663円)
保険事業費	特定保健指導事業費 (363,000円)		保健指導宣伝費(363,000円)
組合費	雑費 (59,400円)		議員旅費 (59,400円)

※予算の配分の問題であり、収支に大きな影響を与えるものではありません。

審 議 事 項

第 1 号議案 令和元年度健康保険・介護保険収入支出決議（案） に関する件

健 康 保 険

- ☐ 令和元年度は、5 年連続で経常収支が黒字となった。
- ☐ 収入は、被保険者の減少に伴い保険料収入が減収となった。
- ☐ 支出は、医療費が安定的に推移している一方、納付金のが
対前年で45,715千円増加し収支を圧迫した。
- ☐ 収入支出差引額18,631千円を決算残金処分とすることができた。

令和元年度 健康保険収入支出実績

(単位：千円)

	平成30年度決算	令和元年度予算	令和元年度決算	令和元年度決算比較	
				対前年度決算	対当年度予算
保険料率 (%)	93.00 (一般91.70)	93.00 (一般91.70)	93.00 (一般91.70)	0	0
被保険者数 (人)	1,520	1,505	1,426	-94	-79
標準報酬月額 (円)	306,726	306,256	313,469	6,743	7,213

経常 収 支	収	一般保険料	612,186	592,783	582,029	-30,157	-10,754
	入	雑収入・利子・回収金・補助金・その他	8,289	7,740	8,848	559	1,108
		経常収入計 (A)	620,475	600,523	590,877	-29,598	-9,646
	支	事務所費	13,179	25,668	14,978	1,799	-10,690
	出	保険給付費 (医療費)	315,751	375,722	295,781	-19,970	-79,941
		納付金	167,385	212,886	213,100	45,715	214
		保健事業費	48,754	53,021	47,620	-1,134	-5,401
		還付金・連合会費・雑支出	525	760	767	242	7
		経常支出計 (B)	545,594	668,057	572,246	26,652	-95,811
		経常収入支出 差引額 (A) - (B)	74,881	-67,534	18,631	-56,250	86,165

経常外 収 支	収	調整保険料	8,721	8,446	8,298	-423	-148
	入	繰越金	151,011	51,582	51,582	-99,429	0
		繰入金 (別途積立金・準備金限度外部分繰入)	0	50,000	0	0	-50,000
		その他収入	3,711	5,216	3,103	-608	-2,113
		経常外収入計 (C)	163,443	115,244	62,983	-100,460	-52,261
	支	財調拠出金	8,665	8,446	8,261	-404	-185
	出	介護勘定繰入他	0	3,500	0	0	-3,500
		その他	0	232	4	4	-228
		予備費	0	35,532	0	0	-35,532
		経常外支出計 (D)	8,665	47,710	8,265	-400	-39,445
		経常外収入支出 差引額 (C) - (D)	154,778	67,534	54,718	-100,060	-12,816

収入合計 (経常 + 経常外)			783,918	715,767	653,860	-130,058	-61,907
支出合計 (経常 + 経常外)			554,259	715,767	580,511	26,252	-135,256
収入支出差引額 (予備費を除く)			229,659	0	73,349	-156,310	73,349

財産	法定準備金残高	255,257	178,068	255,257	0	77,189
	別途積立金残高	113,980	33	134,691	20,711	134,658
	1人当たり別途積立金	75	0	94	19	0

審 議 事 項

介 護 保 険

- ☐ 令和元年度は、対前年の保険料収入が減少したが、介護納付金を上回り黒字となった。
- ☐ 準備金に余裕はあるが、保険料収入は年々減少傾向にあるため、保険料率の推移は見守りたい。
- ☐ 収入支出差引額2,573千円を決算残金処分とすることができた。

令和元年度 介護保険収入支出実績

(単位：千円)

	平成30年度決算	令和元年度予算	令和元年度決算	令和元年度決算比較	
				対前年度決算	対当年度予算
保険料率 (%)	17.5	17.5	17.5	0	0
被保険者数 (人)	931	910	880	-51	-30
標準報酬月額 (円)	333,778	333,652	340,984	7,206	7,332

収入 支出 状況	収入	保険料収入	80,239	76,733	77,667	-2,572	934
		国庫負担	0	0	0	0	0
		利子・回収金・その他	1	3	2	1	-1
		繰越金	0	0	0	0	0
		繰入金	0	2,000	1,200	1,200	-800
		一般勘定受入	0	3,500	0	0	-3,500
		国庫補助金受入	1,122	1	990		
	計		81,452	82,237	79,859	-1,593	-2,378
	支出	介護納付金	76,311	75,808	77,264	953	1,456
		介護保険料還付金	0	30	22	22	-8
		準備金繰入	0	1,399	0	0	-1,399
		一般勘定繰入	0	3,500	0	0	-3,500
		予備費		1,500			
	計		76,311	82,237	77,286	975	-4,951
	収支差引計		5,141	0	2,573	-2,568	2,573

決算 残	準備金	5,141	2,985	2,573	-2,568	-412
	繰越金	0	0	0	0	0
	計	5,141	2,985	2,573	-2,568	-412

準備金 (累計保有額)	25,464	20,644	26,837	1,373	6,193
-------------	--------	--------	--------	-------	-------

審 議 事 項

第2号議案 令和元年度 決算残金処分（案）に関する件

【健康保険】

単位：円

決 算 状 況		決 算 処 分 内 容	
収入決算額	653,860,461	準 備 金	0
支出決算額	580,511,131	別 途 積 立 金	20,710,297
差 引 残 額	73,349,330	翌 年 度 繰 越 金	52,607,000
		※ 財 政 調 整 事 業 繰 越 金	32,033

※任意継続被保険者3月納入前納保険料

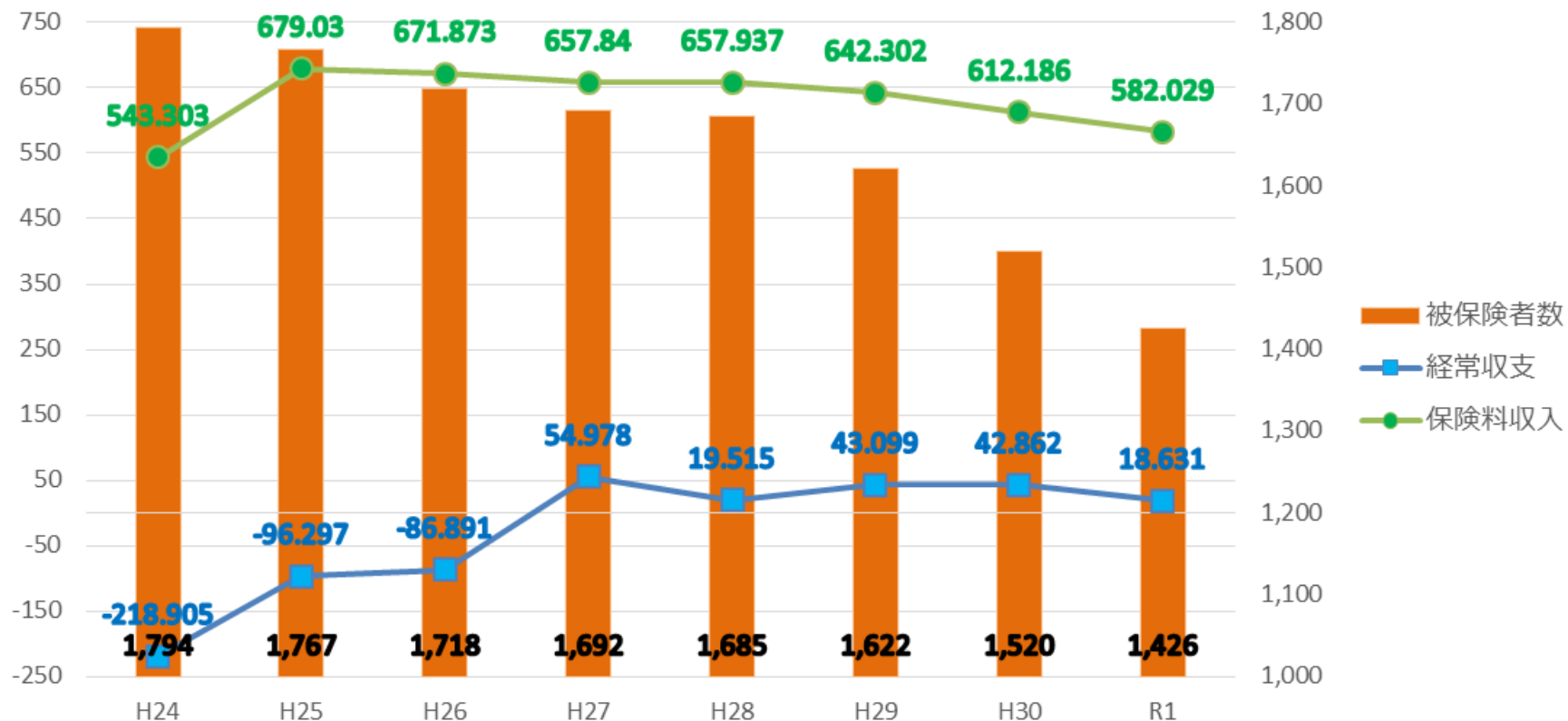
【介護保険】

決 算 状 況		決 算 処 分 内 容	
収入決算額	79,859,454	準 備 金	2,573,137
支出決算額	77,286,317	繰 越 金	0
差 引 残 額	2,573,137		

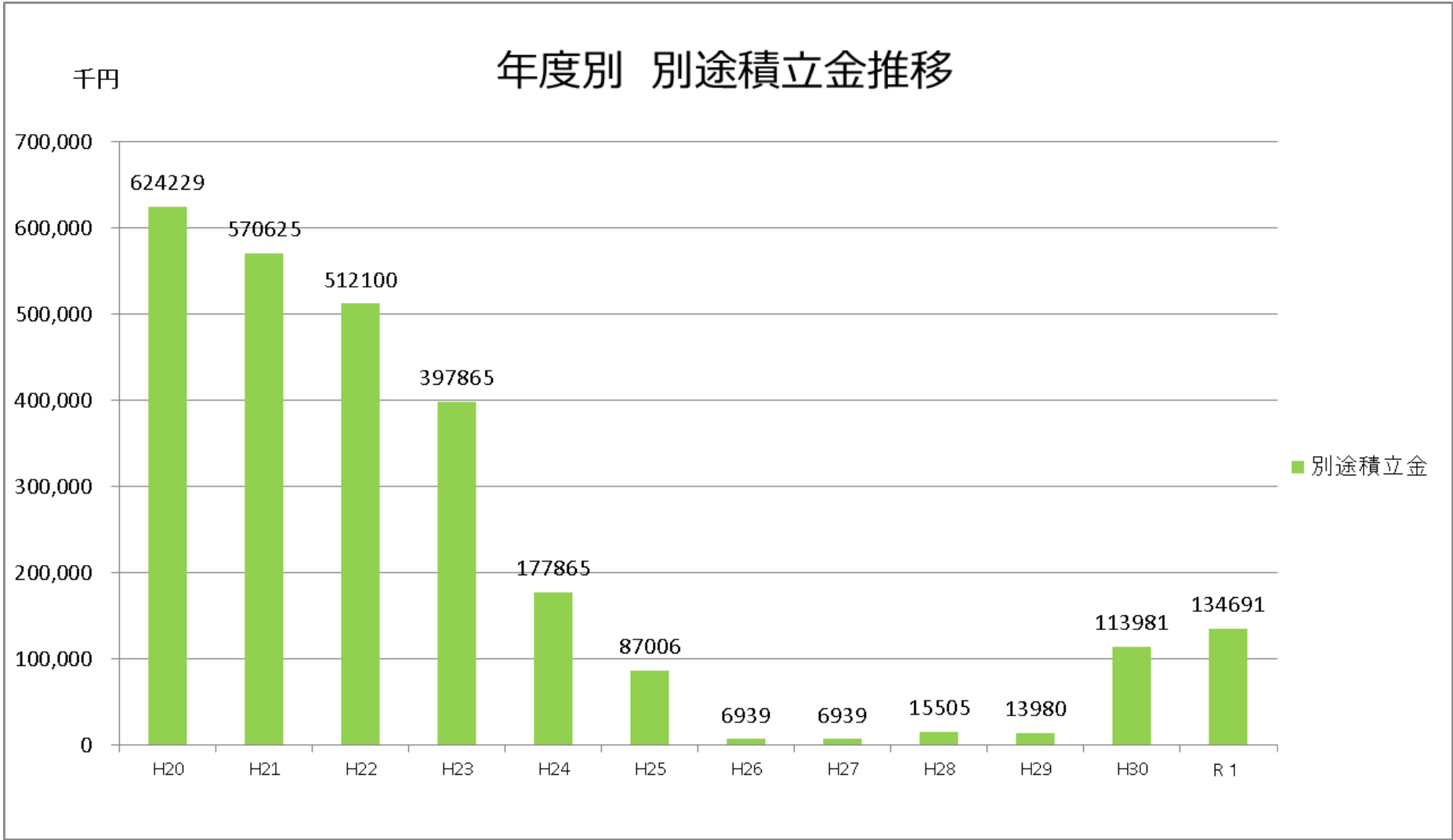
百万円

被保険者数に対する保険料収入と経常収支の推移

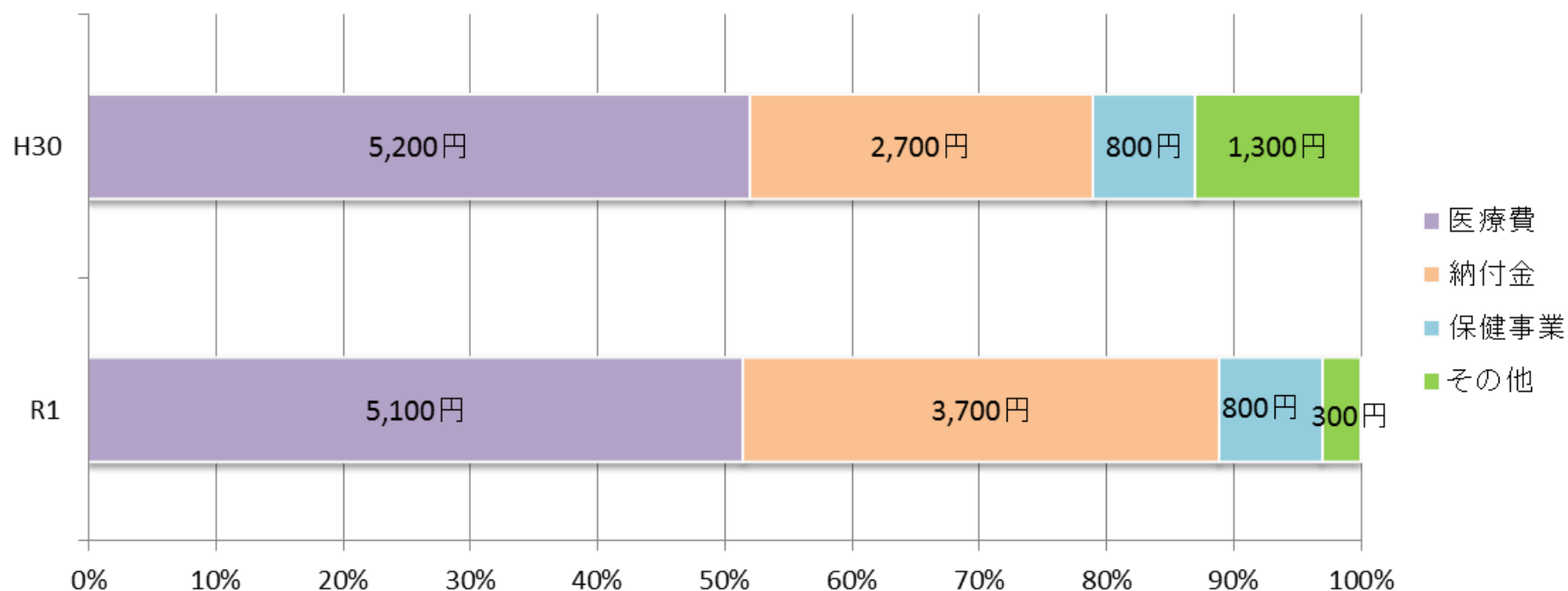
人



※H25 料率変更実施(7.32⇒9.30)



財政の状況 保険料1万円あたりの支出状況



【まとめ】

日本の医療費は、6割が65歳以上の高齢者で占めており、2025年には65歳以上の高齢者が総人口の30%に達すると予想されていることから医療費負担が年々深刻化しています。

一方で、新型コロナ感染拡大についても健康保険組合の運営に多大な影響を及ぼすことが予想されています。

これは、賃金・賞与の低下による保険料収入の減少に加え、受診控えによる精密検査や再検査の放置により、病気が進行し、結果的に医療費がかかるケースが発生する可能性が考えられるためです。

こういった事態に備え、健康保険組合では、会社とより協力的に健康課題に取り組むことが重要だと捉えております。

皆さんに健康に関心を持ってもらえるような健康事業に取り組んでまいりますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。